

令和5年度 赤穂市学校(園)評価 外部報告書

学校園名	赤 穂 市 立 原 小 学 校
------	-----------------

1 本年度の学校経営方針

現在、新型コロナウイルスの感染は一定の収束の兆しを見せ、アフターコロナに向けた生活様式や教育活動をつくりあげていくことが必要となっている。また、これからの社会は、グローバル化が一層進展し、ICTの急速な発達加わり、変化が激しく予測困難な時代を迎える。これからの時代を生きる子ども達は、社会情勢の変化に主体的に対応し、夢や志の実現に向け、未来への道を自ら切り拓いていく力を身につけていくことが必要である。そのような力を育むことを目指し、学校教育目標を「夢や志を抱き、自ら道を切り拓いていく児童の育成」とする。	
学校教育目標を達成していくために、次の3点を学校経営の基本方針とする。 ①児童が夢や志を抱き、目標をもって意欲的に学ぶ学校づくり ②教職員が、児童の指導や授業力の向上、学校運営の参画に達成感や有用感をもって取り組める学校づくり ③コミュニティ・スクールとして、学校、家庭、地域が一体となった、安心・安全で地域とともにある学校づくり	

2 本年度の学校重点目標

1 確かな学力の育成	6 家庭・地域との連携及び協働
2 豊かな心の育成	7 チーム学校による対応の充実
3 健やかな体の育成	
4 キャリア教育の推進	
5 特別支援教育の推進	

総合的な学校園関係者評価

○原小学校は我々の宝です。また、先輩からの誇りを受け継いできた学校でもあります。今は少人数ですが、少人数ならではの学校教育、誰でも誰とも意見を言い合える、原の自然同様に人の気持ちの受容と供給を見い出し、それに向かってみんなが助け合い、協力していける6年間になり、それぞれがこの気持ちを胸に记だして卒業できるように、ずっと持ち続けております。校長、教頭、先生方本当にありがとうございます。家にいるより学校にいます方が長い時間となっておりますが、家庭同様勉強はともかく心のやさしい子に育つように今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 ○有年地区は、ここ10年程で、かなり少子高齢化が進んでいるように思います。これから、数年先には、高齢者が増加し、老々介護的な地域活動になりそうな状況です。原小学校の児童たちも、数年後には、地域に残る者、地域外へ出ていく者がいるかと思ひます。都会でも、地方でも、しっかりと、社会生活を送れる人になって欲しいと思ひます。そのために、 「他人に優しく、自分に強い子」、そして、「地域に愛着と誇りを持つ子」に育てていただきたいと思ひます。できれば、地域に残り、地域を守っていく人になって貰いたいのですが、今、多くの地域で、学校統合や廃校の話を見聞しますが、原小学校が小規模校として、全国や兵庫県で、モデル校となるよう、学校運営や行事や学習方法等を工夫していただき、「小規模校の良さ」としてアピールしていただければ、むやみに統廃合の話にはならないのではと思ひます。そのために、原幼稚園をはじめ、有年中学校区の6校園所や、地域との連携をより密にしていいただき、地域ぐるみでの子育てや人育てにつながればと思ひます。地域との連携は、自治会・老人会等に、遠慮なく声を掛けていただければ、協力させていただきます。コミュニティ・スクールとして、原小学校を核とした地域づくりを目指すことができればと思ひます。 ○運動会、持久走大会を見学させてもらって感じたことは、兄弟のような感じでみんな仲良く、自分がしていない時でも異学年の応援ができ、相手を思いやる心が感じられます。これも少人数の良さが生かされている学校、たて割り班活動のたまものでしょうか。いつも心が暖かくなりいいあつて感動します。 ○原小の子ども達は気持ちのいい挨拶ができます。学校のきめ細かい教育活動、それを共通理解して実践する先生方のお陰です。少人数はいいことだらけです。その良さを児童のより良い学びとするために、頑張ってください。 ○とても小さなそして少人数の児童達を個人の個性を尊重しながら教室で明るく楽しく指導されているなど参観日などで観ていて思っています。少人数だからこそ、いろいろと難しい問題点も出てくるとは思ひますが、それらにも真剣に対応されていて本当にありがたく思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。 ○コロナ対応が緩和され、今年度は行事などが戻ってきて、子ども達の活躍する場も増え、いろんな姿が見れたかと嬉しく思ひます。収穫祭など、新しい試みやたくさんの体験もさせていただきありがとうございます。

学校関係者評価

3 自己評価結果(A～D) A: 達成した B: ほぼ達成した C: あまり達成できなかった D: 達成できなかった

観点 (重点目標)			評価項目(学校・教師の取組)		評価資料	達成状況	改善の方策	自己評価は適切か	改善方法は適切か	課題と来年度具体的改善方法										
			評価目標及び目標値(期待される姿)																	
1	確かな学力の育成	①一人一人の考えを大切にし、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり	項目	児童が相互に学び合う場を数多く設定し、互いの考えや価値観を高め合えるよう授業の工夫をしているか。	アンケート	A	・学習形態を工夫したり、一人一人が発言する機会を多く設定できるような授業づくりを行う。 ・学習規律や学習環境等の共通理解を行い、学習の基盤づくりを継続する。 ・安心して発表できる学級づくりを行う。 ・基礎学力の定着のため、学習タイムを活用した朝学習(国語・算数中心)に取り組んでいく。その中で、書く活動や応用問題にも取り組ませていく。 ・集会や一斉下校時など、みんなの前で発表する機会を設定するようにする。	◎	◎	○何もありますが、この状態で今後ともよろしく願います。 ○本、新聞、インターネット等を利用して、色々な現象に興味を持ち、自ら情報を収集し、得意分野を作り、人前で話すという成功体験ができれば、自分に自信がついてくるのではと思います。それを体験させてやってほしい。 ○学年によっては日記の宿題の頻度がまちまちなので、作文力は個人差が出るようですが、読書習慣を家でも定着してもらいたい。 ○タブレットの普及で便利になり利点もたくさんありますが、基礎学力、書くこと繰り返し計算を何回も行っていくことも大切にしたい。オープンスクールでは、子ども達が自分の意見をはっきり伝え、それを受け入れる先生や仲間がいてほしいと思いました。 ○人は皆、一人ひとりが固有の存在です。“みんな違ってみんないい”が子ども達の自己理解、他者理解となるよう、先生方の一人ひとり分け隔てのない根気強い寄り添いをお願いします。 ○新聞を子ども達が自分で読んだり、学習に新聞の情報をとり入れたりしてくださっているのは、とても良いと思うので、続けてほしいなと思います。										
			指標	友達とともに学ぶ楽しさや価値を感じている。																
		②学習習慣や知識・技能の定着	項目	基礎学力の向上のために継続的な指導を行ったり、読書活動の推進を図ったりしているか。	アンケート・児童のノート・テストの結果															
			指標	該当学年の漢字や計算が定着している。進んで本を読もうとする態度が育っている。																
	③言語活動の充実		項目	物事の見方や考え方を深め、事象に対する自分の考えや思いを豊かに表現する力が育っているか。	アンケート・児童のノート・日記・文集・作文			◎	◎											
			指標	授業の学びを自分の言葉で伝えたり書き表したりすること、日記や作文で自分の思いや考えを表現したりすることができる。																
		①道徳教育・特別活動の充実	項目	児童が主体的に活動に取り組み、他者のために働くことの素晴らしさや充実感を味わうことができるように努めているか。また、自尊感情や思いやりの心を育てるように努めているか。	アンケート活動記録・						A		◎	◎	○それぞれ人数が少なくても個人への差はあると思いますが、その子の目線に立ち、誰にも平等に、またいいところを引っ張り出して下さい。 ○自分たちで企画して活動し、成功体験ができれば、自信をもって、楽しみながら委員会活動や学校生活が送れるのだと思います。目標設定やICTは、そのためのツールの一つであると思います。 ○「生活アンケート」月1回の実施に取り組まれ、担任と子供との面談も行い、小さな変化も見逃さない様、一人一人の子どもを大切にしてい見守ってくれている事に頭が下がります。これからも続けてもらいたいです。 ○気がつけばいつも教員が子どもの前を歩いている。立ち止まり、後ずさりして子どもを前に立たせる。子どもが追いつくのを待つ。主役を子どもに。					
			指標	一人一人の児童が充実感・満足感を味わい、居場所のある学級経営ができている。																
2	豊かな心の育成	②自分も友達も大切に、共に生きる人権教育を全領域で推進	項目	児童一人一人の考えを尊重するとともに、児童がお互いの良さががんばりを認め合える授業を実践しているか。	アンケート・授業参観			◎	◎											
			指標	自分や友達の良いところに目を向け、互いに認め合ったり励まし合ったりしながら学習に取り組むことができる。																
		③合理的配慮のある特別支援教育の深化・充実	項目	合理的配慮の合意形成を行い、個に応じた支援を行うことができるか。	アンケート								◎	◎						
			指標	全ての児童が、学習する楽しさを味わったり、自己の成長を感じたりすることができる。																
3	健やかな体の育成	①体力・運動能力の向上を図る	項目	業間運動や一輪車運動・外遊び等を通して、体力・運動能力の向上を図っているか。	アンケート・児童の様子	B		○	◎	○身体づくり、食、栄養素(ビタミン、ミネラル等も含め)等、身体への働きや食事との関係について、学習されていると思います。食育は、保護者も含め、大切な体力づくりの基礎知識だと思います。心身ともに、健康に生活するためには、運動による体力だけでなく、身体づくり、病気の、医薬品についても学習することが必要だと思います。 ○SNSの使い方として、「ネットへの投稿は、二度と消えない」、「他人を非難中傷してはならない」等、講演会に出席しない保護者に対しても、周知のための資料配布が必要だと思います。 ○マラソン大会も体力の低下から距離も短くなったりに心配です。ぜひ先生も一緒に走って遊んであげて下さい。 ○コロナ禍前の様な地域の方々や誰もが参加できて応援できる「幼小合同」の運動会を実施していただきたい。自転車に乗って遊びに行く事が多いので自転車のマナーや講習会を実施してもらいたい。 ○教員の働き方改革を進めてください。そして昼休みや放課後の短い時間でもいい、子ども達といっしょに遊ぶ余裕が持てたらいいです。 ○児童1人ひとりの家庭環境が異なる中、個人の精神面も充実させながらの健康作りは年々難しくなっていますが、明るさと元気な子供になる為に手助けをしてください。 ・学年関係なく、仲良く活発に外遊びが出来ているように思います。										
			指標	外で元気に遊んだり、できる運動や技を増やそうと取り組んでいる。																
		②健康教育の推進	項目	「早寝・早起き・朝ごはん」の推進や給食指導・保健指導等の充実により、健康への意識や態度を高めているか。	アンケート・児童の様子								◎	◎						
			指標	「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、生活リズム・栄養バランス等を整えている。																
		③安全教育の推進	項目	防災について意識や能力を高め、緊急時に適切に対応できるよう計画的に防災教育を実施しているか。	アンケート・児童の様子													◎	◎	
			指標	地震や火事、津波などの災害時にどのように行動すればよいか知り、行動できる。																

4	主体的な態度の育成	①豊かな体験活動の充実	項目	学校が、地域の拠点としての役割を担うことができているか。	アンケート	B	・地域の方をゲストティーチャーとして招いて学習活動をするなどし、より交流できるような仕組みを整えていく。 ・キャリアノートを活用し、学校行事ごとにふりかえりを行っていくことで、自己の成長を感じたり、新たな目標を考えたりするようにさせる。 ・自分で計画を立てたり、選択をしったりするような課題にも取り組ませていく。 ・原小学校の特色ある活動である原小太鼓や米作り、野菜作り等の体験活動を実施方法を工夫しながら取り組んでいく。	◎◎	◎	◎地域の力をこのままずっと活用しつつ、原小ならではの伝統をこのまま継続を。 ○「地域(有年orありなし)の日」として、有年の歴史や文化、地域の伝承等、地域の人材等を講師に、地域学習の時間をとることで、原小学校の特色の一つにできないでしょうか。小学生時代に、松岡秀夫先生から郷土史をお聴きしたことが、歴史や郷土史に興味を持ったり、かかわったりすること に、地域活動に繋がっています。 ○コロナ禍で太鼓もなかなか難しかったと思いますが、続いてよかったです。昔のように卒業式の太鼓も復活すれば嬉しいです。 ○ゲストティーチャーを招いて、農業体験はすばらしく充実されていると思います。老人会と祖父母合同による昔遊びや物づくりなど地域の連帯の強化をはどうですか。 ○行ってみたくなる、オープンスクールの工夫、立案、発信、実践 ○今年度は原小太鼓を見れる場がたくさんあり、子ども達の頑張る姿が見られたので良かったです。今後も披露できる場がたくさんあると嬉しいです。
			指標	地域の良さや、地域の方々に支えられていることを感じることができている。						
		②グローバル化に対応した教育の充実	項目	郷土を愛する心を育てられるように、地域教材を生かした学習単元を設定し実践しているか。	アンケート					
			指標	地域への愛着や誇りを持つことができている。						
		③各学年の発達段階に応じ、自分の生き方を考えるキャリア教育の推進	項目	自分の将来や仕事について考えるキャリア教育に取り組み、自立心を高めているか。	アンケート					
			指標	自分の将来の姿を考えたり、働くことに対する関心を高めたりすることができている。						
5	家庭・地域との連携	①家庭・地域・専門機関と連携した開発的生徒指導の推進	項目	あいさつや日常的な声かけなどを通して、児童と信頼関係を築けているか。また組織的な生徒指導体制を整え、規範意識の醸成・他者を思いやる心の育成に努めることができているか。	アンケート・児童観察	B	・家庭での子育てについて、PTA家庭教育学級でテーマとして取り上げたり、週末課題で家の人と交流を促すようなものを出したりしていく。 (学校の様子を伝える日記を書くなど) ・児童会のあいさつ運動を継続していく。 ・保護者や地域の方に向け、学校教育活動に興味をもってもらえるよう、学校だより・学級だよりの配付等、情報を発信していく。 ・月に1回程度、オープンスクールや参観日を開催し、児童の様子を直に見ていただく場を計画する。 ・原幼稚園・有年中学校等と情報交換を適切に行っていく。	○◎	◎	○とにかくあいさつ、声かけを大切にしていきたい。 ○PTAは、子育てについて勉強や子育ての情報を交換する場です。家庭教育学級で、子育てについて話し合う場として、活性化できればいいのですが。 ○「オープンスクール」等、「昔遊び」や地域学習等、地域住民が参加できる行事の検討をお願いします。 ○原幼稚園をはじめ、有年中学校区の6校園所や地域と連携した行事を行うことで、地域ぐるみでの子育てや子育てにつながるのではと思います。 ○コミュニティ・スクールとして、原小学校を核とした地域づくりを目指せればと期待します。 ○幼小中と何か楽しい行事などあればいいですね。 ○あいさつ運動を継続させてほしい。学校ではできても、登下校時、地域の中で1対1だとまだ少しはずかしさがあるのかあいさつができていないように思われる。 ○タブレットでの配信や学級だよりの配付を通して、子どもたちの様子やできごとなどたくさん伝えてほしいなと思います。
			指標	安全に気をつけ、明るく元気に学校生活を送り、自らあいさつすることができる。						
		②保幼小中との連携	項目	相互の発達段階を考慮した活動を行い、児童に自分の在り方について考える機会を設けているか。	アンケート・児童観察					
			指標	今の自分の姿を見つめたり、将来の自分の姿を考えたりすることができる。						
		③学校の取組の発信と学校評価	項目	学校は地域や保護者に学校教育方針や児童の活動の様子をわかりやすく伝えているか。また、学校に対する評価や要望に真摯に対応しているか。	アンケート					
			指標	保護者や地域の方が、学校は学校だよりやHP、オープンスクールなどで、学校の様子を分かりやすく伝えていると感じている。						
6	学校運営	①人権を大切にする学校づくり	項目	人権尊重の視点に立った環境づくりに努め、学校長を中心に、組織的に学校運営がなされているか。	アンケート・学校評価資料	B	・昨年度の取組を見直し、改善していくため、職員で検討する場を設け、しっかりと協議していく。 ・職員の加配や校務の効率化は進んでいるものの、超過勤務がなかなか減らない状況にある。児童と向き合う時間や授業準備の時間の確保、職員が健康で生き生きと笑顔で子どもたちと学べるよう、さらに取組を進めていく。 ・行事や業務等の見直しについては、原小学校の特色を大事に考えながら、効率化を図っていき、変更点については、保護者等に丁寧に説明し、ご理解がいただけるようにする。	○◎	◎	○今後の「地域とともに歩む学校づくり」として ①学校運営委員として、先生方の顔も名前もわからないということのないように、オープンスクールなどの行事に参加していきたいと思います。 ②「地域学習の日」等を企画していただき、講師を地域人材に任せることで、先生方の負担が少しでも減るよう工夫できないかと思います。 ③学校や先生方の負担を減らせるように、地域やPTAに協力を仰ぐことで、学校教育の活性化や地域活動の活性化が図れるようになっていないでしょうか。 ○原小は他の小学校と比べて下校の見守りもあり、負担も大変かと思いますが、児童のことがおろそかにならないようにお願いします。 ○教職員みなさんにも家庭があります。家庭を大切に、そして「心身ともに健康である」事を第一に考えていただきたい。 ○業務の多忙な先生方ですが、相互の授業参観が自然に抵抗なくできて、職員室でも「授業」が話題になる、そんな雰囲気(文化)のある学校であればいいですね。
			指標	自他を尊重し、よりよく生きようとする児童の育成に向けて、職員が協働的に教育活動に取り組んでいる。						
		②家庭・地域と共に歩む学校づくり	項目	開かれた学校づくりに努め、地域と共に歩んで行こうとする姿勢が見られるか。	アンケート・学校評価資料					
			指標	学校評価等を有効に活用するなど、積極的に地域の声を取り入れている。						
		③学校の組織力の向上	項目	学校教育目標の具現化に向け、課題と成果の共有化を図っているか。	アンケート・職員会提案資料					
			指標	教師一人一人のモチ味を生かし、児童の活躍の場を大切にした取り組みが行われている。						
		④学校業務改善の推進	項目	校務の効率化を図り、勤務時間の適正化に努めているか。	記録簿					
			指標	PDCAサイクルによる業務の見直しや改善を行い、超過勤務の縮減に努めている。						
		⑤教職員の資質向上	項目	他人の意見に耳を傾け、使命感と熱意を持ち、指導力・授業力を高めようと努めているか。	アンケート・研究授業・校内研修					
			指標	児童や保護者・同僚の意見に耳を傾け、自省しながら日々の教育活動の充実にむけた取り組みが行われている。						

自己評価における特記事項

・本年度は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、行事や学習活動のもち方を工夫しながら、原小のよさを生かした教育活動を実施することができた。来年度についても、地域とのつながりを大切にしたい原小ならではの特色のある教育活動ができるよう、取り組んでいく。

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

○新型コロナが5類に移行され、少しずつ行事も工夫されながら、前に進んでいるのが嬉しく感じます。例えば収穫祭、餅つきから、飯ごう炊飯式にし、火おこし・おにぎりづくりを行うなど、とてもいいとりくみだと思います。行事をなくすのではなく、その時にあった工夫を試行錯誤しながら実施していただきたい。
○原小学校統廃合の声があがっていますが、絶対反対です。子ども達一人一人がこんなにいきいきと学んで、私達地域住民も元気をもらっています。「地域のあかり」を消してほしくありません。
○あれもこれも…学校、着ぶくれた学校教育、先生方の背中が丸くならないように。業務効率化を推進して、子ども達とおしゃべりしたり、遊んだり、そんなことも大切にできる学校にしたいですね。
○問題や課題が起きてからの対応が大事ですので、地域と学校が連携協力して学校・児童・地域を守っていききたいと思います。自分達が生まれ育った場所を愛し受け継いで住み続ける そう思う子供が増える様に努力したいですね。